

第 3 次福岡市動物愛護管理推進実施計画 令和 4 年度実施状況

1 数値目標と実績（令和 4 年度は 12 月末現在の数値）

目標 1 殺処分頭数	
犬(令和 2 年度 10 頭)	
猫(令和 2 年度 234 頭)	
令和 2 年度実績の概ね 2 分の 1	
5 頭以下 (令和 13 年度まで) 100 頭以下 (令和 13 年度まで)	
実質的殺処分ゼロを継続するとともに、収容頭数の削減や譲渡の推進により、重篤な病気等を理由としたやむを得ない殺処分などの更なる削減を目指す。	

【実績】

犬

年 度	29	30	1	2	3	4
収容後死亡	7	5	5	4	3	0
譲渡不適	20	7	25	6	1	0
実質的殺処分	0	0	0	0	0	0
殺処分計	27	12	30	10	4	0
譲渡	61	60	59	30	58	23

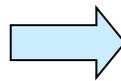
猫

年 度	29	30	1	2	3	4
収容後死亡	69	67	64	43	45	33
譲渡不適	150	280	202	191	124	129
実質的殺処分	95	50	0	0	0	0
殺処分計	314	397	266	234	169	162
(うち子猫)	(227)	(317)	(213)	(179)	(115)	(109)
譲渡	192	182	138	119	171	81

目標 2 犬猫の収容頭数

犬(令和2年度 104頭)

猫(令和2年度 361頭)



50頭以下 (令和13年度まで)

180頭以下 (令和13年度まで)

令和2年度実績の概ね2分の1

飼い主責任の徹底や飼い主のいない猫のみだりな繁殖の防止などにより、収容頭数削減を目指します。

【実績】

犬

年度	29	30	1	2	3	4
捕獲	28	16	30	11	17	7
引取(飼い主)	29	20	24	16	28	16
引取(飼い主不明)	140	121	104	75	75	37
負傷	5	3	1	2	1	0
収容計	202	160	159	104	121	60
返還	103	108	76	65	58	34

猫

年度	29	30	1	2	3	4
引取(飼い主)	56	86	8	17	6	34
(うち子猫)	(17)	(41)	(0)	(0)	(0)	(8)
引取(飼い主不明)	414	434	342	292	296	192
(うち子猫)	(352)	(399)	(306)	(267)	(249)	(158)
負傷	65	76	65	52	50	32
(うち子猫)	(16)	(31)	(22)	(16)	(12)	(10)
収容計	535	596	415	361	352	258
(うち子猫)	(385)	(471)	(328)	(283)	(261)	(176)
返還	18	24	11	8	9	4

目標3 苦情件数

令和2年度 苦情件数
犬猫合計 618 件



300 件以下 (令和 13 年度まで)

令和2年度実績の概ね2分の1

飼い主責任の遵守や飼い主のいない猫への不適切な給餌などによる迷惑防止の指導啓発により、苦情件数の削減を目指します。

【実績】

年度	29	30	1	2	3	4
犬	190	182	148	155	165	128
猫	392	370	407	463	400	262
合計	582	552	555	618	565	390

目標4 犬の登録と狂犬病予防注射

飼育されている犬すべての登録と年1回の狂犬病予防注射の実施

(令和 13 年度まで)

【実績】

年 度		29	30	1	2	3	4
犬登録	12 月末	4, 173	4, 202	4, 226	4, 639	4, 656	4, 394
	3 月末	4, 956	4, 811	5, 060	5, 617	5, 645	—
狂犬病 予防注射	12 月末	34, 576	34, 632	34, 654	34, 392	35, 627	36, 676
	3 月末	36, 169	36, 318	36, 505	36, 649	37, 960	—

2 具体的施策の令和4年度の実施状況

動物愛護・適正飼育の推進

1 飼い主責任の啓発

- 高齢者向けに配布している「マイエンディングノート」に、もしものときのペットの預け先などについて考えてもらうきっかけとして、ペットに関する項目を新たに追加しました。

主な配布場所：市役所、区役所、地域包括支援センター、公民館、社会福祉協議会



2 不妊去勢手術の徹底

- 福岡市獣医師会との共働事業として、飼い猫の不妊去勢手術とマイクロチップの装着を同時に行う際の費用の一部助成を行いました。

募集頭数：200頭

助成額：7,500円

3 ワンヘルスの推進

- 動物愛護週間期間中に実施した「動物愛護と正しい飼い方に関するパネル展」において、ワンヘルスに関するパネルの展示や、啓発冊子の配布を行いました。

期間：令和4年9月17日～9月22日

会場：福岡市役所1階多目的スペース

- 市政だより10/15号にワンヘルスの特集記事を掲載し、人獣共通感染症の予防やワンヘルスの取組みについて啓発を行いました。

飼い主のいない猫問題対策

1 収容頭数削減のための取組み

- 動物愛護管理センターの収容頭数の多くを占める、飼い主のいない猫の繁殖制限を推進するため、不妊去勢手術の支援について、他都市の事例調査を行うとともに支援の方法について検討しました。

2 地域猫活動の支援方法の検討

- 新規活動地域が不妊去勢手術に取り組みやすくするため、動物愛護管理センターだけでなく、市内の動物病院でも地域猫の不妊去勢手術が受けられるようにしました。

【地域猫活動への支援実績】（令和4年度は令和4年12月末現在）

年 度	29	30	1	2	3	4
不妊去勢手術 頭数	87	96	247	294	367	144
新規指定地域数	2	3	5	9	6	6
更新支援地域			5	5	12	13

3 飼い主のいない猫への不適切な給餌防止対策

- 市民からの指導依頼を受け、不適切な給餌行為を行っている者に対し、指導を行いました。

【飼い主のいない猫に関する苦情内容と件数】（令和4年度12月末時点）

不適切な給餌	93
糞尿など	80
車など物への被害	13
庭・ゴミを荒らす	8
鳴き声	7
その他	10
合計	211

譲渡の推進

1 譲渡事業の充実

- 譲渡候補犬猫や譲渡犬を一般家庭での生活に慣らすため、収容期間中にボランティアに預けて飼育する「預かりボランティア制度」を開始しました。
 - ・登録ボランティア 3名
 - ・預け実績 犬1頭、猫2頭

- 動物愛護管理センターの譲渡犬猫の希望者の中に、先住動物との相性や動物アレルギーなどに不安を覚える方がいるため、不安の解消を図るとともに、譲渡後の問題発生を防止するため、譲渡前に一定期間トライアル飼育を行う「飼育トライアル制度」を開始しました。

トライアル実績：猫2頭（2頭ともトライアル先に譲渡）

- 攻撃性など健康状態以外の問題から譲渡不適と判定された犬について、譲渡の機会を広げるため、動物愛護管理センター職員や登録ボランティアによるトレーニングを実施しました。

- ・トレーニング実績：犬2頭

2 犬猫の譲渡・殺処分のあり方検討

- 犬猫の殺処分方法について、平成25年11月以降、犬と成猫は「炭酸ガス吸入法」から「麻酔薬投与方法」に変更しました。しかし、子猫については処分頭数が多いことから、殺処分を行う獣医師の精神的負担を考慮し、炭酸ガスによる処分を継続していましたが、令和4年10月から子猫についても「麻酔薬投与方法」に変更しました。

多頭飼育問題対策

1 関係機関との連携

- 地域包括支援センターが主催する個別支援会議に参加し、多頭飼育に陥った高齢者の事例について協議を行い、関係機関と連携して対応を行いました。

2 多頭飼育問題防止のための啓発

- 苦情対応等で把握した多頭飼育の飼い主に対し、福岡市が定める多頭飼育の届出制度について説明を行いました。

【多頭飼育届出状況】（令和4年12月末現在）

年度	犬のみ	猫のみ	犬と猫	計
H30	—	2	3	5
R1	1	—	—	1
R2	5	—	2	7
R3	3	4	1	8
R4	0	0	2	2
計	9	6	8	23

3 問題のある多頭飼育者への指導啓発

- 近隣からの苦情があった多頭飼育者に対し、適正飼育や不妊去勢手術の必要性などについて指導を実施しました。

【多頭飼育の苦情件数】令和4年度は12月末現在)

年度	犬			猫		
	戸建て	集合住宅	計	戸建て	集合住宅	計
H30	2	—	2	3	2	5
R1	1	—	1	4	3	7
R2	1	2	3	13	4	17
R3	2	0	2	12	3	15
R4	1	0	1	4	2	6

監視指導

1 動物取扱業者の監視指導

【動物取扱業の件数、監視実績】令和4年度は12月末現在)

年度		H30	R1	R2	R3	R4	
第一種動物取扱業	登録件数	販売	170	173	197	191	190
		保管	297	317	337	350	345
		貸出し	14	16	17	20	19
		訓練	42	46	48	47	41
		展示	40	48	55	57	56
		譲受飼養	1	3	4	2	3
	施設実数	438	468	516	523	513	
	監視施設数	301	251	248	152	149	
動物取扱業 第二種	登録件数	譲渡	9	9	10	12	13
		保管	3	3	3	3	3
		訓練	1	1	1	1	1
		展示	1	1	1	1	1
	施設実数	9	9	10	12	13	

- 動物取扱責任者研修会について、新型コロナウイルス感染症への対応のため、従来の対面形式に加え、オンラインでの研修を実施しました。

マイクロチップ装着の推進

1 所有者明示とマイクロチップ装着の推進

- 令和元年度から実施しているマイクロチップ装着費用の助成事業について、令和4年6月から義務化された販売される犬猫のマイクロチップの装着にあわせ、助成頭数を50頭から100頭に拡大しました。

助成金額 1,500 円

- 令和4年6月の犬猫の販売時のマイクロチップの装着等の義務化に関するテレビ取材や各種啓発イベントにおいて、マイクロチップの有用性や変更手続きの必要性について啓発を行いました。

2 マイクロチップの登録情報の変更手続きの啓発

- 同上

狂犬病予防

1 指導啓発の充実

- 市政だより、動物愛護管理センターホームページ、市役所 SNS、啓発イベントにおいて、狂犬病予防注射の周知啓発を行いました。

2 死亡届や登録事項変更届の周知啓発

- 市内に飼育実態のない登録台帳を整理するため、宛所不明として返送された狂犬病予防集合注射の案内ハガキの飼い主に電話し、飼育実態の確認を行いました。

共働の推進

1 関係部署や関係機関との連携

- 県警察本部と福岡県、北九州市、久留米市、福岡市の動物愛護担当部署との連携会議の開催し、遺棄事案の対応等について情報交換を行いました。

2 動物関係団体等との連携及びボランティアの受入れ

- 動物関係団体やボランティアと連携し、わんにゃんよかイベント、犬猫よろず相談などの啓発イベントを実施しました。

また、福岡市獣医師会、登録ボランティアとの共働により、動物愛護管理

センターに収容された子猫を哺育し、離乳した後に譲渡する「ミルクボランティア事業」を実施しました。

【ミルクボランティア実績】（令和4年度は12月末現在）

年度	ボランティア増加数	哺育頭数	哺育中死亡等	譲渡済
H28	25	8	0	8
H29	13	63	3	60
H30	7	85	5	80
R01	14	77(2)	5(1)	72(1)
R02	14	59	2	57
R03	20	100	0	100
R04	8	41	0	36
計	101	433	15	413

※（ ）は子犬の頭数

危機管理対策

1 災害発生時の対応

- 福岡市防災フェアに出展し、同行避難や備蓄品などペットの防災対策について啓発を行いました。

- ・開催日：11月5日
- ・場所：マリノアシティ福岡市



- ペットの同行避難や同伴避難の対応について検討するため、防災担当部署と共に他都市の避難所の視察を行いました。

視察先：大牟田市、久留米市

2 狂犬病発生時の対応

- 厚生労働省主催「九州・沖縄地区 狂犬病診断研修会」に動物愛護管理センター職員を派遣し、狂犬病疑い事例や狂犬病発生時の対応の習熟に努めました。

- ・期日：令和5年1月23日～1月25日
- ・場所：宮崎大学